

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月24日(火)	試合番号	A9	回戦	3回戦
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ		

Aチーム			Bチーム		
西條（富山）			滝ノ水（愛知）		
得点合計	小計		小計	得点合計	
14	6	前半	9	20	
	8	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

ベスト4進出をかけた西條（富山）と滝ノ水（愛知）の準々決勝は、西條のスローオフで幕を開ける。前半は両チームとも、GKを中心に集中したディフェンスを見せ、相手に得点を許さない。5分過ぎまで1-1と両チームとも一步も引かない緊迫した試合展開となる。均衡を破ったのは滝ノ水。9分と11分に連続得点。3-1とし2点をリードする。しかし西條もポストシュートを決め、すかさず1点差とする。両チームはその後も1点を争う攻防を展開。すると滝ノ水は、23分に10番が倒れながらもポストシュートを決め2点差となると勢いが生まれる。前半終了間際にも11番が得点し9-6と3点をリードし、前半を終えた。

後半に入ると滝ノ水は11番のミドル、ステップシュートなどから連続得点を挙げるとそのままリズムに乗り、5分までに12-6とリード。西條を引き離しにかかる。嫌な流れを断ち切りたい西條はタイムアウトをとり、立て直しを図る。5番のカットインシュートなどが決まり、なんとか食らいつくが、滝ノ水のGKのナイスセーブもあり、流れは変わらない。20分までに19-12と滝ノ水が西條に対し7点をリードする。試合時間残り5分、滝ノ水は7番が2分間退場となり、数的不利となる。一気に点差を詰めたい西條は、11番にマンツーマンマークをしかけ勝負に出る。4番、8番が得点するも、滝ノ水は最後まで冷静に試合を運び、20-14で勝利。ベスト4に進出した。

記載者名

原 阜 順平